



# 四中だより

令和4年 5月 2日  
荒川区立第四中学校  
学校だより 第2号

これまで四中のために、ありがとうございました。

## 離任式 4月28日(木)

4月の学校だよりでもお知らせしたとおり、本年度、6名の教職員の方が本校を去られました。その離任式を、4月28日(木)に行いました。残念ながら、ご公務やお仕事の関係でなかなかご都合のつかない方もいらっしゃいましたが、当日は、片桐育美先生、野原正樹先生、佐藤一慶先生にお越しいただきました。



初めに、お世話になった代表生徒から、感謝の言葉とともに、お手紙と花束を贈呈させていただきました。その後、先生方からは、本校での思い出や新しい職場の様子、四中生に向けてのお言葉などをお話いただきました。そして、最後に本校の校歌を全員で歌いお別れをしました。

今年の本校の入学式は“第76回”でした。このことは、100年の3/4に及ぶ時間のなかで、たくさんの生徒たちがこの第四中学校の門をくぐり、学び、そして巣立っていったということです。それはちょうど、そのときに在籍した生徒たちが四中というバトンをつないできたようなものです。それは生徒だけではありません。その時々勤務された教職員の方々が、学校のため、四中生のためにご努力をされ、そのバトンを繋いでいってくださったおかげで、今日(こんにち)の四中があります。そうした意味でも、この4月に去られた先生方、職員の方のご努力に感謝したいと思います。これからも健康に留意され、新しい職場・新しい道でご活躍されることを心よりお祈りいたします。これまで、本当にありがとうございました。



## 教職員編成についてのお知らせ

4月の学校だよりで、本年度の教職員の編成についてお伝えしたところですが、4月8日現在で未定であった本校のNEA(外国人英語指導員)について、担当者の配置が決まりましたので、お知らせします。

Karen Kato(カレン カトウ)先生

カレン先生には、本校を継続してご担当いただき、これまで四中生のために丁寧なご指導をいただいています。本年度もよろしくお願いいたします。

新入生への歓迎の気持ちを伝える会となりました。

## 対面式 4月11日(月)

入学式翌週の月曜日4月11日、生徒会主催の行事、対面式が行われました。今回は、ソーシャルディスタンスを確保するため、2・3年在校生は各教室からのリモートでの、1年新生のみ体育館での参加となりました。初めに、生徒会や委員会の活動について等の“生徒会ガイダンス”がありました。本部役員と各委員長からの説明は、はっきりとした口調で丁寧でわかりやすく、活動の内容がよく理解できました。



次に行われた“部活動紹介”では、実演だけでなくビデオ動画・スライドを活用するなど工夫されていて、その部活動の特徴がうかがえ知れて、新入生は今からどの部に入部しようか楽しみにしているようでした。その後、部活動担当の長谷川先生から、部活動のきまりや仮入部等、本校の部活動運営についてのガイダンスがありました(保護者の皆様には5/7の部活動保護者説明会でご説明いたします)。

最後の校歌斉唱は、感染症対策として歌声はありませんでしたが、堂々とした高橋 徹さんの指揮、小林 穂さんの伴奏で、イメージをつかむことができました。1年生が退場する際には、バスケットボール部の生徒が体育館に残り拍手で見送りをしてくれるなど、コロナ禍にあってもできる限りのことをして歓迎の意を伝えようとする気持ちが感じられる会でした。短い期間のなかで準備をしてくれた生徒会役員を始め運営に携わった2・3年生の皆さん、ご苦労様でした。



委員会活動もスタート!新委員長のみなさん、よろしくお願いします。

## 生徒会専門委員 認証式 4月18日(月)

4月18日(月)、本年度最初の生徒会朝礼において、専門委員の認証式を行ないました。今回は、それぞれの委員会ごと、代表して前期委員長が呼名され、壇上で認証書を受け取りました。どの委員長も、呼名にはっきりとした返事で、堂々と認証書を受け取っていました。その後の生徒会朝礼でも、委員会の方針を全校に述べる姿から、意欲と責任感が感じられ、真剣な面持ちで全校生徒の前に立っていたのが印象的でした。



これから半年、各委員のみなさんには、学校生活の充実のため、それぞれの活動に取り組んでほしいと思います。よろしくお願いします。加えて、委員以外の人、自身も生徒会会員のひとりであることを忘れず、委員会活動に協力し、委員の人たちを支えていきましょう。これまでの活動や実績を“よき伝統”として引き継ぎながら、発展させていってくれることを期待しています。

新入生と2・3年生との交流を図ることができた行事となりました。

## 学級新入生歓迎会 D組 4月21日(木)

いよいよ新年度がスタート、ガイダンス期間が終わり、授業も本格的に始まるなど、校内での活動が動き始めました。D組では、12名の1年生が入学し大所帯となり、教室ごとに分かれて活動するなど、学年ごとの活動も多くなりました。そうしたなか、4月21日(木)、学級としての新入生歓迎会が開催されました。

3年生の司会で1年生が入場、開会の後、1年生による「決意の言葉」では、一人一人が今の思いをしっかりと述べてくれました。



「2・3年生の出し物」は、1年生のために制作した“校内案内ビデオ”の上映でした。これには、実際に校内を回って映像を撮影、それに合うようみんなで字幕・ナレーションを考えました。それらを3年生が編集、BGM入れ、PCによる読み上げ音声入れ等の作業をして完成させたものです。映像の編集は工夫されており、また、ナレーションやエンディングスクロールもユーモアを交えたもので、1年生にとって楽しみながら校内の様子をイメージすることができました。

「1年生の出し物」では、はじめに制作過程を撮ったメイキング映像を上映した後、制作した“黑板アート”『宇宙に輝く一番星と天の川』が披露されました。協力して制作されたことがよくわかり、結果、作品も素晴らしい仕上がりの力作でした。

年度初めの緊張した空気を和らげ、新入生と2・3年生との交流を図ることができた行事となりました。

### プログラム

- 1 新入生入場
- 2 はじめの言葉
- 3 歓迎の言葉
- 4 決意の言葉(1年生一人ずつ)
- 5 2・3年生の出し物  
・校内案内ビデオの上映
- 6 1年生からの出し物  
・メイキング映像の鑑賞  
・黑板アートの披露
- 7 お礼の言葉
- 8 終わりの言葉
- 9 新入生退場

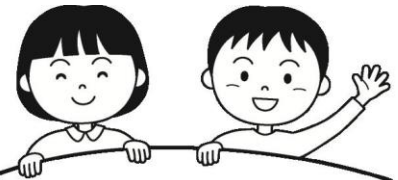


# 感染防止に配慮しながら、ゴールデンウィークを有意義に過ごすために

## 四中“うちどくのススメ”キャンペーン

新型コロナウイルス感染症について、まん延防止等重点措置が解除されて約ひと月半が経ちました。ピーク時から感染者数は減少しましたが、以前として高い水準で推移している状況があります。先日の保護者会でもお話ししましたが、本区小中学校においても、毎日のように新規陽性者が確認されています。東京都では、「リバウンド警戒期間」が5月22日まで延長されました。今後は、感染の再拡大に備えるとともに、引き続き基本的な感染防止策を徹底することが求められています。

そうしたなかでの今年のゴールデンウィーク。様々な過ごし方がありますが、第四中学校では、“うちどく”を紹介させていただきます。各学年だより等でも掲載しておりますが、あらためてご案内いたします。感染防止に配慮しながら、有意義なゴールデンウィークをお過ごしください。



### うちどくのススメ

「うちどく（家読）」とは、荒川区が推奨している活動です。「家族ふれあい読書」の意味で、読書を通じて、コミュニケーションを図り、家族の絆を深める取り組みです。

うちどくに決まった形はありません。例えば、家族で同じ本を読んでみる。最近読んだ本を家族に紹介する。家族で感想や意見を述べ合う。家族に絵本を読んであげる、など。

本をきっかけに、コミュニケーションが増えたり、話題が広がったり、お互いの考えがわかったり、良いことだらけです。四中図書館にはバラエティ豊富な本がたくさん用意されています。ぜひ、活用してください。

### 5月の行事

日	曜		日	曜	
1	日		16	月	運動会色団集会、荒教研総会
2	月		17	火	
3	火	憲法記念日	18	水	㊦
4	水	みどりの日	19	木	都学力調査(3)
5	木	こどもの日	20	金	
6	金	腎臓検診二次	21	土	
7	土	生徒総会、部活動説明会、PTA実行委員会・総会	22	日	
8	日		23	月	全校朝礼、安全指導
9	月	眼科検診	24	火	
10	火		25	水	運動会予行 ㊦
11	水	㊦	26	木	
12	木	オーケストラ鑑賞教室(D・2)	27	金	
13	金	避難訓練	28	土	運動会
14	土		29	日	
15	日		30	月	振替休業日
㊦…四中寺子屋			31	火	運動会予備日